



# サステナビリティ保証 ISSA 5000

ファクトシート

## なぜISSA 5000が必要なのか？

IAASB（国際監査・保証基準審議会）は、初の国際サステナビリティ保証基準™（ISSA）5000「サステナビリティ保証業務の一般的要求事項」を公表した。この基準に準拠して行われる保証業務は、企業が報告するサステナビリティ情報が、意思決定に資する目的適合性、信頼性、信憑性、比較可能性を備えていることについて、想定利用者の信頼を高めるものである。

企業がサステナビリティ事項に与える影響に関心のあるステークホルダー、及びサステナビリティ事項が企業に与える影響に関心のある投資家や貸付人にとって、サステナビリティ情報の報告は、国際的に重要な事項になっている。サステナビリティ情報に対する保証を求めるステークホルダーの声が強まっており、多くの国又は地域で保証の義務化が進められている。

## 関連するファクトシート

ISSA 5000と「サステナビリティ保証業務に関する国際倫理基準（国際独立性基準を含む。）」（IESSA）：  
サステナビリティ保証のグローバルなベースライン基準

国際会計士倫理基準審議会（IESBA）の「サステナビリティ保証業務に関する倫理及び独立性」（IESSA）

IESBAの「サステナビリティ報告における倫理」

IESBAの「専門家の業務の利用」

## グローバルサステナビリティ報告・保証・倫理のエコシステム



## この基準は誰に適用されるのか？

ISSA 5000は、サステナビリティ情報の保証業務を行う業務実施者を対象に、強固な要求事項を定めている。

ISSA 5000は、保証業務の断片化を防ぐグローバルなベースライン基準として、質の高いサステナビリティ保証業務の一貫した実施を支援する。

この基準は職業にとらわれないため、必要な適性と能力を備えた保証業務実施者であれば誰でも使用することができる。ただし、以下の重要な留意点がある。

### 業務実施者は—

- 職業倫理に関する規定（独立性を含む）を定めたIESBA倫理規程<sup>1</sup>を遵守しなければならない。
- 品質管理にISQM 1<sup>2</sup>を適用している事務所に所属していなければならない。
- IESBA倫理規程及びISQM 1と同等以上に厳しい職業倫理と品質管理の要求事項に従わなければならない。

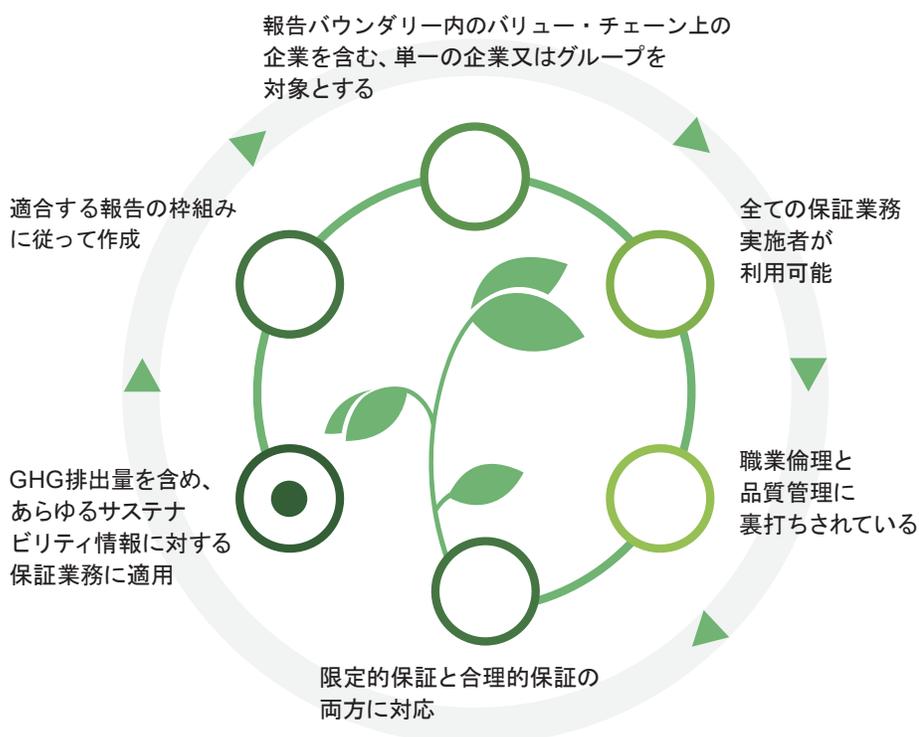
<sup>1</sup> サステナビリティ保証業務に関連する国際会計士倫理基準審議会の「職業会計士のための国際倫理規程（国際独立性基準を含む。）」

<sup>2</sup> 国際品質マネジメント基準「財務諸表の監査若しくはレビュー又はその他の保証若しくは関連サービス業務を行う事務所の品質マネジメント」

## ISSA 5000はどのような業務を対象としているのか？

企業がサステナビリティ情報をどう表示するか、及びサステナビリティ情報の報告や保証が義務であるか任意であるかを問わず、ISSA 5000はサステナビリティ情報に対する全ての保証業務に適用される。

### ISSA 5000の要求事項と適用指針は—



## サステナビリティ保証業務のための独立したグローバルなベースライン基準

ISSA 5000は原則主義に基づく包括的な基準であり、品質管理に関するISQM及びIESBA倫理規程以外には、いかなる基準も参照する必要はない。

温室効果ガス報告に対する保証業務のためのISAE 3410<sup>3</sup>は、ISSA 5000に組み込まれたため、ISSA 5000の適用をもって廃止される。

ISAE 3000 (改訂)<sup>4</sup>は、過去財務情報の監査若しくはレビュー業務又はサステナビリティ情報に対する保証業務以外の保証業務について引き続き使用される。

## ISSA 5000は保証業務の全プロセスをカバー



## 職業倫理と品質管理に裏打ちされた業務

<sup>3</sup> 国際保証業務基準 (ISAE) 3410 「温室効果ガス報告に対する保証業務」

<sup>4</sup> ISAE 3000 (改訂) 「過去財務情報の監査又はレビュー以外の保証業務」

## ISSA 5000は業務実施者にとってどのように役立つのか？

### ISSA 5000が規定するのは...

#### ISSA 5000を導入するための前提条件

- 信頼性の高い保証のための明確な方針（関連する倫理規定と品質管理の適用を求める）
- ISSA 5000を支える基本的な概念

#### 業務契約締結の基礎

- 業務実施者と業務チームの適性及び能力、並びに資源
- 適切な前提条件について契約締結前に行う作業の範囲

#### 証拠収集における課題への対応策

- グループ保証業務における証拠の情報源（構成単位の業務実施者の利用を含む）
- バリュー・チェーンから十分かつ適切な証拠を入手する方法（業務チーム外の他の業務実施者の業務を含む）
- 見積りや将来予測情報に必要とされる証拠

#### 計画と重要性に対する明確なアプローチ

- 業務の計画及び実施に最適な開示情報のグルーピング又は分解の方法
- 重要性については、定性的な開示情報の場合は検討、定量的な開示情報の場合は決定することを要求

#### サステナビリティ特有の事項に関する要求事項

- ダブル・マテリアリティへの対応
- 報告対象となるサステナビリティ情報を識別するための企業のプロセスについての理解

#### 限定的保証業務と合理的保証業務の区別

- リスク評価及びリスク対応に関して、要求事項を並列表示し、項番号の後に「L」（限定的保証）又は「R」（合理的保証）の文字を付すことで、作業の違いを簡単に比較できる
- 限定的保証では開示情報レベル、合理的保証では開示情報におけるアサーション・レベルでのリスク評価が求められる

#### 財務諸表の監査人との連携

- 業務の計画段階、その他適切なタイミングで行われるコミュニケーションの基礎
- サステナビリティ情報と併せて報告される他の情報が監査済財務諸表であり、その情報に重要な相違が認められた場合に必要とされるコミュニケーション

#### 保証報告書の内容

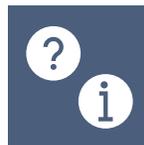
- 最低限含めるべき基本的記載事項に加え一貫性と比較可能性のある保証報告書作成のための一連の文例
- 固有の限界の識別とその報告方法

## 導入のためのリソース



### ISSA 5000適用ガイド

- ISSA 5000に準拠した保証業務の実施に当たり、業務実施者を支援する実用的な指針（保証業務契約の新規締結又は更新、計画及び実施並びに報告を含む）
- 図表や具体例を用い、わかりやすく解説
- ISSA 5000の策定過程で実施したアウトリーチ活動で把握した質問や課題に対応



### ビデオとFAQ

- ISSA 5000の概要を紹介
- 幅広いステークホルダー向け



### 2025年に順次提供されるリソース

- テクニカルウェビナー
- ステークホルダーへの継続的なアウトリーチ活動
- 枠組み別の報告書の文例
- ...他にも多数

# 2026年12月15日

## 適用時期

ISSA 5000は、**2026年12月15日**以後開始する期間又は**2026年12月15日**以後の特定の日付において報告されるサステナビリティ情報に対する保証業務について適用される。早期適用も認められる。

最新の情報やコンテンツをご希望の方は、SNSでフォローしていただくか、公式ウェブサイトでご登録ください。

 @IAASB\_News

 company/iaasb

 @iaasb

[www.IAASB.org](http://www.IAASB.org)



## IAASBについて

国際監査・保証基準審議会 (IAASB) は、監査、品質管理、レビュー、その他の保証、及び関連サービスのための高品質な国際基準を設定することにより公共の利益に資する独立した基準設定機関である。IAASBの基準は130余りの国・地域で使用されており、監査及び保証業務の質と一貫性の向上、市場や経済に対する信頼の強化に寄与している。



IAASBについて詳しくは[www.iaasb.org](http://www.iaasb.org)をご覧ください。

国際会計士連盟 (IFAC) は、知的財産権及びサービスレベル契約を通じて、IAASBのコンテンツの翻訳又は複製の依頼を管理している。本文書や他の出版物の複製や翻訳の許可について、又は知的財産に関する情報については、[Permissionsにアクセス](#)するか、[Permissions@ifac.org](mailto:Permissions@ifac.org)までお問い合わせください。

IAASB<sup>®</sup>、国際倫理・監査財団 (IFEATM) 及び国際会計士連盟 (IFAC<sup>®</sup>) は、本書の内容に依拠して行動する、若しくは行動を控えることによって生じた損失について、その損失が過失によるものであるか否かにかかわらず、責任を負わない。

2025年1月に国際会計士連盟（IFAC）の国際監査・保証基準審議会（IAASB）によって、英語で公表された「ISSA 5000 ファクトシート」は、2026年3月に日本公認会計士協会によって日本語に翻訳され、IFACの許可を得て複製されている。全てのIFACの文書の正文は、IFACにより英語で公表されたものである。IFACは、翻訳の正確性と完全性、又はその結果として生じる可能性のある行動について一切の責任を負わない。

*ISSA 5000 FACT SHEET*の英語文© 2025年 国際会計士連盟（IFAC）。無断複写複製を禁ずる。

「ISSA 5000 ファクトシート」の日本語文© 2025年 国際会計士連盟（IFAC）。無断複写複製を禁ずる。

原題：*ISSA 5000 FACT SHEET*

本翻訳の複製、保存、送信又は他の類似する使用については、Permissions@ifac.orgへ問合せの上、許可を得なくてはならない。